

2020年12月20日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第37号(通算3214号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま つく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。

御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。(ヨハネによる福音書3:16)



こうたんび れいはい
クリスマス(降誕日) 礼拝

《**新型**コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂きます》

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 祷

まね ことば しょ
招きの詞 イザヤ書

しょう せつ
9章 1, 5-6a節

さんびか さんびか ばん しゅ ま のぞ
賛美歌 『讚美歌21』242番「主を待ち望むアドヴェント」(©JASRAC)

てんとう せつ
クランツ点灯のことば 点灯者

せい しょ ふくいんしょ
聖 書 ルカによる福音書 2章 1-20節

いの
お 祈 り

さんびか しんせいさんびか ばん にほん れんめい
賛美歌『新生讚美歌』180番「イエスがここに」(©日本バプテスト連盟)

メッセージ 「カナリアたちのクリスマス」 牛田 匡 牧師

リタジー さんびか さんびか ばん ちよさくけんしょうめつ
交 奏 と 賛美歌 『讚美歌21』267番「ああベツレヘムよ」(©著作権消滅)

しゅ いの ページ さんしょう
主の祈り (7頁をご参照ください)

ユーカリスト うしだ ただし ぼくし
聖 餐 牛田 匡 牧師

きょうどう いの さんびか ばん な ちよさくけんしょうめつ
共同の祈りと『讚美歌21』524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は けん さんびか ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 『讚美歌21』91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅ く ふく うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そ う ばん きょうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こ う ページ さんしょう
報 告 (10頁をご参照ください)

* 「献げ物」は、神様への「感謝と献身」を覚えてお祈りください。

「献金」のご用意のある方は、「クリスマス献金」と合わせて、それぞれの身近で今、必要とされている方々のためにお献げください。



招きの詞 ^{ことば} イザヤ書 9章 1, 5-6a 節

¹闇の中を歩んでいた民は大いなる光を見た。

死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が輝いた。

⁵一人のみどりごが私たちのために生まれた。

一人の男の子が私たちに与えられた。

主権がその肩にあり、その名は

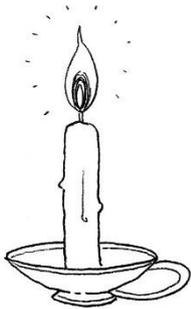
「驚くべき^a指導者、力ある神

永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

⁶その主権は増し、平和には終わりが無い。

(脚注 a: 別訳「助言者」)

クランツ点灯のことば



神様、イエス様のお誕生をお祝いするクリスマスの時を、ありがとうございます。イエス様は暗闇の中に^{とも}灯った光です。イエス様がなされたように、私たちもこの光を分かち合い、^{とも}灯し合う歩みができますように。イエス様がこの世に来られたことを、私たちが心から感謝してお祝いすることができますように。

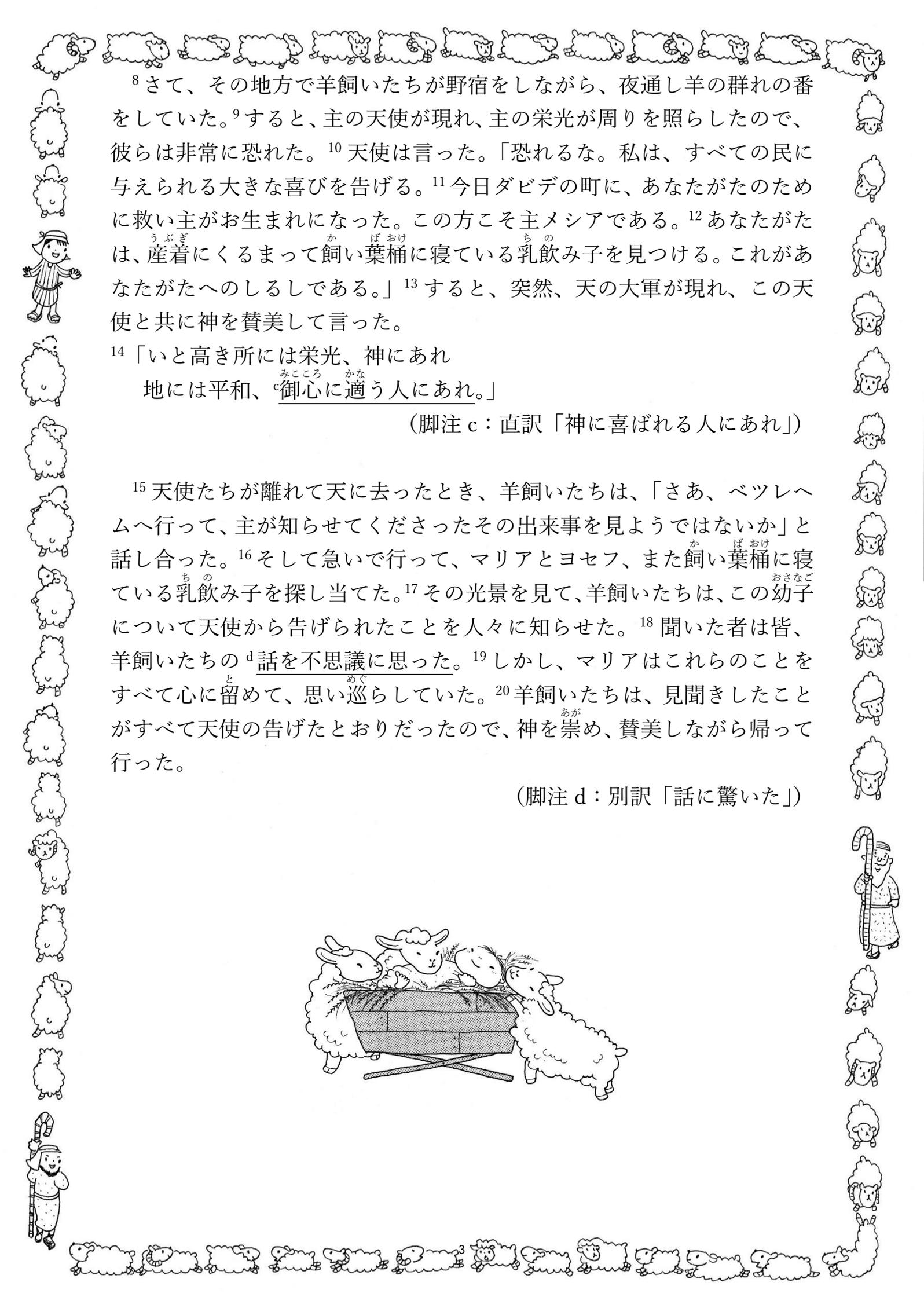
聖書 ルカによる福音書 2章 1-20 節

¹その頃、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの^{ちよくれい}勅令が出た。²これは、キリニウスがシリア州の^{そうとく}総督であったときに行われた最初の住民登録であった。³人々は皆、登録するために、それぞれ自分の町へ旅立った。⁴ヨセフもダビデの家系であり、またその^{ちすじ}血筋であったので、ガリラヤの町ナザレからユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。⁵身重になっていた、いいなずけの^{みおも}マリアと一緒に登録するためである。⁶ところが、彼らがそこにいるうちに、マリアは月が満ちて、^{ういご}初子の男子を産み、^{うぶぎ}産着にくるんで^か飼い^{ぼおけ}葉桶に寝かせた。

^b宿屋には彼らの泊まる所がなかったからである。

(脚注 b: 別訳「客間」)





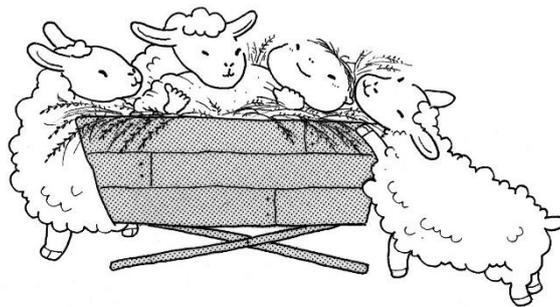
8 さて、その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。9 すると、主の天使が現れ、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 天使は言った。「恐れるな。私は、すべての民に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、産着にくるまって飼いかばおけに寝ている乳飲み子を見つける。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、天の大軍が現れ、この天使と共に神を賛美して言った。

14 「いと高き所には栄光、神にあれ
地には平和、御心にみこころかな適う人にあれ。」

(脚注 c：直訳「神に喜ばれる人にあれ」)

15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行って、主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼いかばおけに寝ている乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使から告げられたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらのことをすべて心に留めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の告げたとおりだったので、神を崇め、賛美しながら帰って行った。

(脚注 d：別訳「話に驚いた」)



「クリスマスのリタジー（交禱）」

先導者

今、この世界は、新しい病気が蔓延^{まんえん}して、多くの人々が心と身体に痛みを抱えながら、このクリスマスの時を迎えています。身体的な苦しみ、精神的な苦しみ、経済的・社会的な苦しみなど、様々な苦しみや痛みを抱えておられる方々があります。そのすべての方々のために祈ります。

暗闇の中を歩いた人たちは、偉大なる光を見ました。深い影の地に生きる人たちの上に、光が照らされました。彼らをつないでいた軛^{くびき}と、その人たちに課せられていた重荷を、神様は打ち砕かれました。

みんな

憐れみ深い神様。私たちはそれぞれに苦しい思いと記憶を抱えつつ、今を生きています。そんな私たちと仲間たちのために、このクリスマスに私たちの祈りをお聞きください。今日を生きるための力と、明日を迎えるための勇気、そして過去を覚えるための平安を、どうぞお与えください。喜びと悲しみ、死と命、そして絶望と希望、確かなる約束を、私たちと共に分かち合ってください。イエス・キリストと共にあって祈ります。アーメン。

賛美歌 『讚美歌 21』 267 番（1 節）「ああベツレヘムよ」

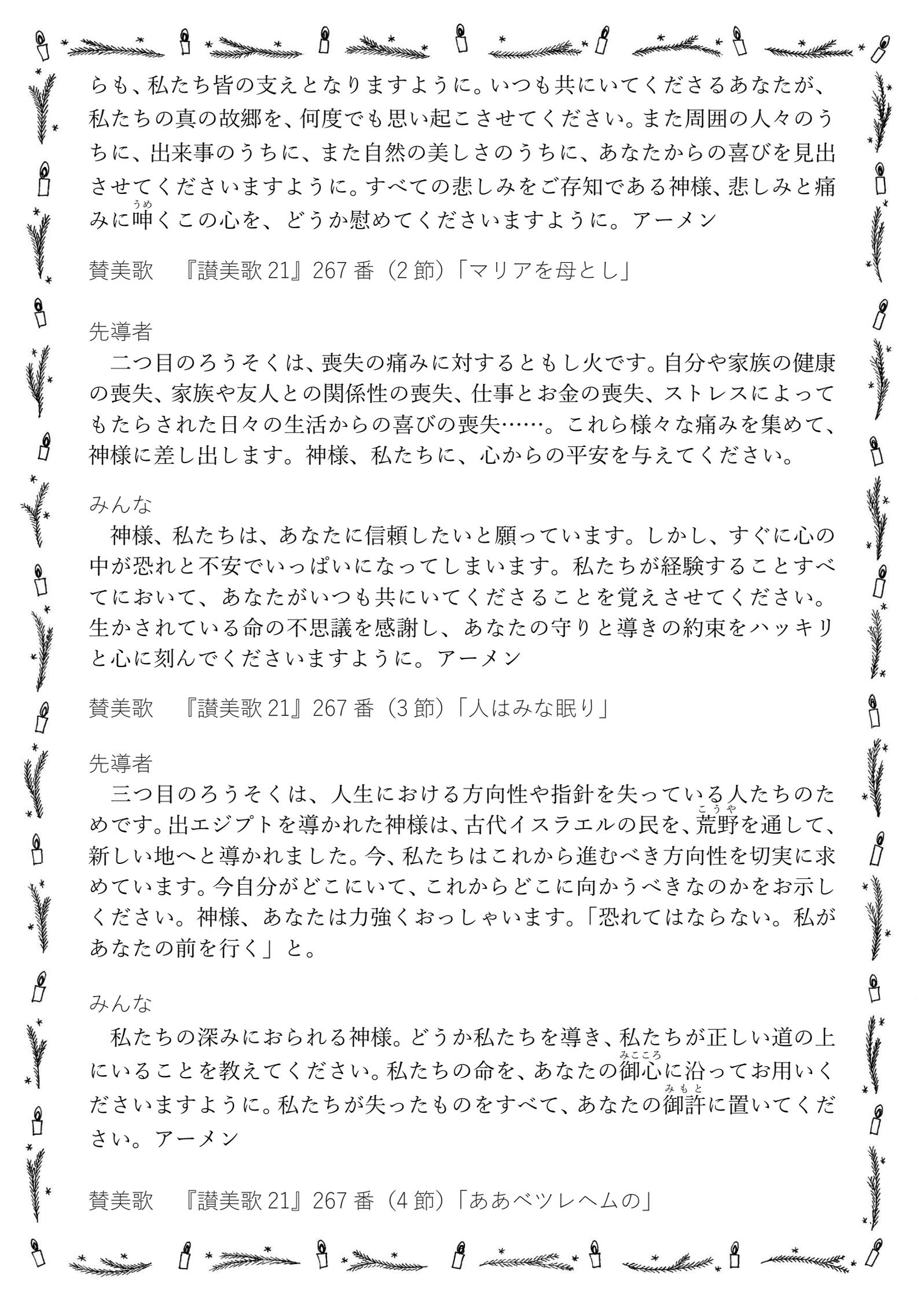
先導者

ここに5本のろうそくが灯されたアドベント・クランツがあります。イエス・キリストの降誕を待ち望みつつ灯したこのろうそくの一つ一つには意味があります。

一つ目のろうそくは、先に天に召された私たちの大切な人たちを覚えるためです。しばらく静かに、彼らの名前、声、そしてこの季節に私たちと彼らを結びつける思い出を思い出しましょう。そして、私たちの内にある彼らの命を感謝しつつ、神様の前に彼らを心に抱きましょう。（しばらく黙禱）

みんな

命の源である神様、私たちはそれぞれに大切な人たちを、あなたの御許^{みもと}に送りました。その人たちが、あなたの御許^{みもと}で安らいでいることを信じています。そして彼らがあなたからの「贈り物」として、私たちに与えられたことも感謝いたします。私たちは信じています。皆があなたからの「永遠の命」を生き、彼らとも一緒に生きているのだということ。この真理が今も、そしてこれか



らも、私たち皆の支えとなりますように。いつも共にいてくださるあなたが、私たちの真の故郷を、何度でも思い起こさせてください。また周囲の人々のうちに、出来事のうちに、また自然の美しさのうちに、あなたからの喜びを見出させてくださいますように。すべての悲しみをご存知である神様、悲しみと痛み^{うめ}に呻くこの心を、どうか慰めてくださいますように。アーメン

賛美歌 『讚美歌 21』 267 番 (2 節) 「マリアを母とし」

先導者

二つ目のろうそくは、喪失の痛みに対するともし火です。自分や家族の健康の喪失、家族や友人との関係性の喪失、仕事とお金の喪失、ストレスによってもたらされた日々の生活からの喜びの喪失……。これら様々な痛みを集めて、神様に差し出します。神様、私たちに、心からの平安を与えてください。

みんな

神様、私たちは、あなたに信頼したいと願っています。しかし、すぐに心の中が恐れと不安でいっぱいになってしまいます。私たちが経験することすべてにおいて、あなたがいつも共にいてくださることを覚えさせてください。生かされている命の不思議を感謝し、あなたの守りと導きの約束をハッキリと心に刻んでくださいますように。アーメン

賛美歌 『讚美歌 21』 267 番 (3 節) 「人はみな眠り」

先導者

三つ目のろうそくは、人生における方向性や指針を失っている人たちのためです。出エジプトを導かれた神様は、古代イスラエルの民を、荒野^{こうや}を通して、新しい地へと導かれました。今、私たちはこれから進むべき方向性を切実に求めています。今自分がどこにいて、これからどこに向かうべきなのかをお示してください。神様、あなたは力強くおっしゃいます。「恐れてはならない。私があなたの前を行く」と。

みんな

私たちの深みにおられる神様。どうか私たちを導き、私たちが正しい道の上^{みこころ}にいることを教えてください。私たちの命を、あなたの御心^{みもと}に沿ってお用いください。私たちが失ったものをすべて、あなたの御許に置いてください。アーメン

賛美歌 『讚美歌 21』 267 番 (4 節) 「ああベツレヘムの」

先導者

四つ目のろうそくは、希望のしるしです。クリスマスの物語が、私たちに指し示している希望のしるしです。私たちの命を分かち合ってくださいる神様が、すべての涙が拭ぬぐわれる時と場所を約束してくださっていることを覚えます。

みんな

神様、どうか私たちの沈んだ心を引き上げてください。道を見失っている時、どうか導いてください。日々の生活の中で、あなたから頂いている愛を見出せるようにしてください。そしてその愛を信頼できるように助けてください。それによって私たちもまた、隣の人を大切にすることができますように。すべての命を大切にされるイエス・キリストと共にあって祈ります。 アーメン。

先導者

五つ目のろうそく、アドベント・クランツの中心にあるろうそくは、キリストのろうそくです。クリスマスの夜、社会の中からのけ者にされ、粗末な家畜小屋でお生まれになったイエス・キリストは、この暗い世界の中に灯ともった小さな光でした。小さくても確かな光が、暗闇の中には灯ともっています。

みんな

暗闇の中に輝いておられる神様。私たちは、この世界と私たち自身の中に、暗闇があることを知っています。クリスマスに家畜小屋の中でお生まれになったあなたは、社会の片隅かたすみを歩み、十字架へと追いやられつつ、光と慰め、平安と喜びを、この世界にもたらしてくださいました。私たちもまた幼子イエス様の光によって、この心がすべて闇に閉ざされてしまわないように、私たちの中にも確かな光を灯ともして下さい。そして私たちがこの世界で再び輝き、隣にいる人たちとこの小さな火を分かち合い、灯火を増やして行くことができるようにしてください。アーメン

先導者

このクリスマスの季節に、私たちに必要なすべての良いものが与えられるように、神様に祈り求めましょう。

多くの痛み、様々な喪失、大きな不安と向き合っている私たちに、神様どうか応えてください。

私たちの家族や仲間が、互いに寄り添い、助け、支え続けてくれますように。先に天に召された私たちの大切な人たちが、また私たちの生活の中のあらゆる喪失が、すべて、あなたの復活の約束によって全きものへと完成されます

ように。

遠い昔、クリスマスの夜、羊飼いたちに、御使いによって告げられたように、世界の隅々にまで、あなたからの平安がありますように。

全てを創られた愛と恵みの神様、このクリスマスに痛みや苦しみ、悲しみの中にあるすべての人たちに、あなたからの力を豊かに注いでくださいますように。

私たちはみんな神様の子どもです。神様に信頼して、イエス様が教えてくださったと伝えられているお祈りを、皆で一緒に祈りましょう。

主の祈り

みんな

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに、

地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を

今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしくください。

わたしたちも人をゆるします。

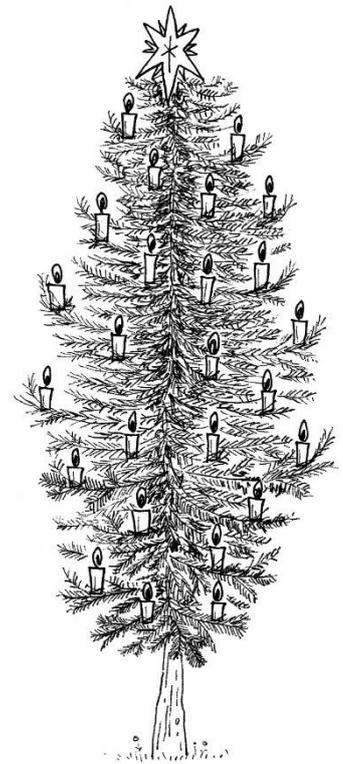
わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

アーメン。

(日本聖公会・カトリック教会共同訳)



《 参照 》 4-7 頁：「クリスマスのリタジー」（以下を参照して改変）

Heather Hill 2012. “Blue Christmas Service: When Christmas Hurts”

(<https://youngclergywomen.org/blue-christmas-service-when-christmas-hurts/>)

中村佐知 2016. “（翻訳）ブルークリスマスのリタジー” 「ミルトスの木かげで」 (<http://rhythmsofgrace.blog.jp/archives/14789699.html>)

《先週のメッセージより》12月13日 待降節第3主日礼拝

メッセージ「奇跡の子」より

牛田匡牧師

聖書：マタイによる福音書 1章 18-23節

今回の聖書は、イエス様の誕生が天使によって告げられたお話でした。「母マリアはヨセフと婚約していたが、一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが分かった」とありますが、マリアは次第に大きくなっていくお腹を抱えて、困惑していたでしょう。婚約者のヨセフも、マリアのお腹の子が、自分の子ではないことを知り、苦悩しました。周囲の人々は、非合法の婚外妊娠に対して、冷たい視線を投げかけたことでしょう。しかし、そんな不安や恐怖の中にあつた二人に対して、天使はその妊娠は「聖霊の働きによるもの」だと告げました。「聖霊によって身ごもった」という表現は、なかなか妊娠しなかつた不妊の女性が、ようやく妊娠した時の感謝の思いを表わした言葉です。日本にも「子どもは天からの授かりもの」という言葉がある通り、人間的に困難な状況の中でも、神様のお恵みによって新しい命を宿したという信仰的な表現でした。

さらにこのマリアの妊娠・出産は、預言者イザヤの言葉「見よ、おとめ（若い女性）が身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる」の成就であるとも告げられました。「インマヌエル」とは、「神は私たちと共におられる」という意味です。この言葉は、今も昔も多くの人々が考えている、「自分たちが今、病気や穢れ、不幸の中にいるのは、悪いことをした罰なんだ」という考えを否定しています。「神様から見放されて苦しい」のではなく、小さくされ苦しめられている人々と共に神様がおられる、と天使は告げました。その意味で、イエス様は本当に「奇跡の子」でした。

日本でも100年前までは乳幼児死亡率が高く、「七つまでは神のうち」と言われて「七五三」を迎えられることを、神様に感謝して来ました。今では周産期医療も発達して、かつては授からなかつた命、助からなかつた命も無事に生まれるようになりました。そのような経験を経た人たちにとっては、「奇跡の子」「神様によって授けられ、助けられた命」という言葉が、実感を持つのではないのでしょうか。多くの命が失われた戦禍を奇跡的に生き延びた人がいます。また様々な差別と偏見の中を、押しつぶされそうになりながらも、仲間助けられながら何とか生き延びた人がいます。その人たちも紛れもなく「奇跡の子」です。そして今を生きている私たちもまた、このコロナ禍、様々な困難の中を生かされて生きている「奇跡の子」ではないのでしょうか。全ての人が「神様の子ども」であり、また神様によって生かされている「奇跡の子」です。クリスマスに、世界のどん底に生まれた救い主、暗闇の中に生まれた光、イエス・キリスト。私たちはそのイエス・キリストの命を与えられて、神様と共に今日も導かれて歩んでいきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (12月1日) 教会堂には集まらず、中継配信のみの礼拝でした。

礼拝出席 大人1名 献金 大人1,000円 感謝

特別養護老人ホーム「第二好意の庭」(柏原市)のクリスマス礼拝のために、教会堂に集まることは休止し、第二好意の庭からインターネットによる中継配信を行いました。第二好意の庭では例年は、入居者の家族の方々も一緒にクリスマス礼拝と祝会を行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のために、入居者の方々と職員とで、クリスマス礼拝と昼食会を行いました。

◎次週 2020年12月27日(日) 歳末礼拝(降誕節第1主日礼拝)

招きの詞 イザヤ書 60章 1-2節

聖書 ルカによる福音書 1章 5節-2章 38節

朗読劇(ドラマティック・リーディング) 礼拝「老証人の賛歌」

賛美歌『讚美歌21』268, 177, 182, 264, 231番、『新生讚美歌』180番

礼拝はインターネットで中継配信いたします。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府には「新型コロナ警戒信号：赤色」が続いており、12月29日まで「不要不急の外出の自粛」が要請されています。自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そして医療崩壊を防ぐためにも、教会堂に集まる形での対面式の礼拝にこだわらず、中継配信などを利用して、それぞれの場所でご一緒に礼拝にご参加ください。(12月の誕生者祝福式は来月に行います)

釜ヶ崎支援としての「クリスマスのお弁当作り」(25日)とは別に、礼拝後にも「おにぎり作り」を行い、釜ヶ崎・いこい食堂にお届けする予定です。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会にいらして下さる方は、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。今後の感染状況や、自治体の方針、こども園の状況によっては、教会堂は開放せずに、インターネットでの中継配信のみになる場合があります。詳細は、教会掲示板、ホームページ、Facebook、LINE公式アカウント等で連絡いたします。また「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。なおご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・「クリスマス献金」を本日まで集めています。献金先は、昨年度から引き続き、「関西学院大学神学部」「日本基督教団開拓伝道支援」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人・神戸国際支援機構」「釜ヶ崎・いこい食堂(おにぎり基金)」の6団体です。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
12/27	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	(歳末礼拝)・おにぎり支援
1/3		牛田牧師	(新年礼拝)・聖餐式
1/10		牛田牧師	教会を考える会
1/17		水谷牧師?	

